

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【公表番号】特表2015-500805(P2015-500805A)

【公表日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-002

【出願番号】特願2014-544885(P2014-544885)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	31/4188	(2006.01)
A 6 1 K	31/4178	(2006.01)
A 6 1 K	31/424	(2006.01)
A 6 1 K	31/429	(2006.01)
A 6 1 K	31/4985	(2006.01)
A 6 1 K	31/542	(2006.01)
A 6 1 K	31/5377	(2006.01)
A 6 1 K	31/4439	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	9/99	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	25/16	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	31/4188	
A 6 1 K	31/4178	
A 6 1 K	31/424	
A 6 1 K	31/429	
A 6 1 K	31/4985	
A 6 1 K	31/542	
A 6 1 K	31/5377	
A 6 1 K	31/4439	
C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 N	9/99	

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月26日(2015.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

個体における認知を強化する方法であって、二本鎖RNA-タンパク質依存性キナーゼの阻害剤の治療有効量を前記個体に与える段階を含む、方法。

【請求項2】

前記阻害剤が、タンパク質、核酸または小分子を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記阻害剤が小分子を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記個体が検出可能な認知機能障害を有しない、請求項1に記載の方法。

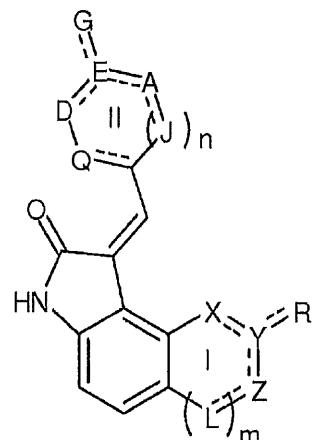
【請求項5】

前記個体が、アルツハイマー病、パーキンソン病を有するか、あるいは、高齢である、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記阻害剤が、下記の一般式：

【化1】



(式中、

Xは、H、OH、SH、O、S、N、NH、CH、CH₂またはC=Oであり、

Zは、H、OH、SH、O、S、N、NH、CH、CH₂またはC=Oであり、

Rは、H；O、NH₂；またはOHであり、

Yは、CH₂；CH、N、NH、CまたはOであり、

Lは、H、OH、SH、O、S、N、NH、CH、CH₂またはC=Oであり、

mは0または1であり、

ただし、Lが、H、OHまたはSHであり、かつ、Xが、H、OHまたはSHであるとき、Z、YおよびRは存在せず；

ただし、Xが、H、OHまたはSHであり、かつ、Zが、H、OHまたはSHであるとき、YおよびRは存在せず；

ただし、XがNまたはCHであるとき、XはYとの二重結合を形成し；

ただし、Xが、O、S、NH、CH₂またはC=Oであるとき、XはYとの単結合を形成し；

ただし、XがYとの二重結合を形成するとき、ZはYとの単結合を形成し；

ただし、ZがYとの二重結合を形成するとき、XはYとの単結合を形成し；

ただし、ZがNまたはCHであるとき、ZはYとの二重結合を形成し；

ただし、Zが、O、S、NH、CH₂またはC=Oであるとき、ZはYとの単結合を形成し；

ただし、YがCであるとき、Rは、H、OHまたはNH₂であり、あるいは、RはOであり、かつ、Yとの二重結合を形成し；

Aは、H、OH、SH、O、S、N、NH、CH、CH₂またはC=Oであり、

D は、 H、 OH、 SH、 O、 S、 N、 NH、 CH、 CH₂ または C = O であり、

E は、 CH₂、 CH、 N、 NH、 C または O であり、

G は、 H、 O、 NH₂；または OH であり、

J は、 H、 OH、 SH、 O、 S、 N、 NH、 CH、 CH₂ または C = O であり、

Q は、 CH₂、 CH、 N、 NH または O であり、

n は 0 または 1 であり、

ただし、 J が、 H、 OH または SH であり、かつ、 D が、 H、 OH または SH であるとき、 A、 E および G は存在せず；

ただし、 D が、 H、 OH または SH であり、かつ、 A が、 H、 OH または SH であるとき、 E および G は存在せず；

ただし、 D が N または CH であるとき、 D は E との二重結合を形成し；

ただし、 D が、 O、 S、 NH、 CH₂ または C = O であるとき、 D は E との单結合を形成し；

ただし、 D が E との二重結合を形成するとき、 A は E との单結合を形成し；

ただし、 A が E との二重結合を形成するとき、 D は E との单結合を形成し；

ただし、 A が N または CH であるとき、 A は E との二重結合を形成し；

ただし、 A が、 O、 S、 NH、 CH₂ または C = O であるとき、 A は E との单結合を形成し；

ただし、 E が C であるとき、 G は、 H、 OH または NH₂ であり、あるいは、 G は O であり、かつ、 E との二重結合を形成する）

を有し、また、

前記組成物がその医薬的に許容され得る塩または水和物である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

m が 0 であり、 X が NH であり、 Y が C であり、 Z が N であり、かつ、 R が SH である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

m が 0 であり、 X が S であり、 Y が CH₂ であり、 Z が S である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

m が 0 であり、 X が NH であり、 Y が O であり、かつ、 Z が CH₂ である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

m が 0 であり、 X が NH であり、 Y が C であり、 R が O であり、かつ、 Z が NH である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 11】

m が 0 であり、 X が C = O であり、 Y が NH であり、かつ、 Z が C = O である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 12】

m が 0 であり、 X が S であり、 Y が N であり、かつ、 Z が CH である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 13】

m が 1 であり、 X が N であり、 Y が CH であり、 Z が CH であり、かつ、 L が N である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 14】

m が 1 であり、 X が S であり、 Y が CH₂ であり、 Z が CH₂ であり、かつ、 L が NH である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 15】

n が 0 であり、 Q が CH であり、 D が S であり、 E が CH であり、かつ、 A が N である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 16】

n が 0 であり、 Q が C H であり、 D が N であり、 E が C H であり、かつ、 A が S である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 17】

n が 0 であり、 Q が N であり、 D が O であり、 E が C H であり、かつ、 A が C H である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 18】

n が 0 であり、 Q が C H であり、 D が N H であり、 E が C であり、 G が O であり、かつ、 A が N H である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 19】

n が 0 であり、 Q が C H であり、 D が C H であり、 E が C H であり、かつ、 A が N H である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 20】

n が 0 であり、 Q が C H であり、 D が N H であり、 E が C であり、かつ、 A が C である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 21】

n が 1 であり、 Q が C H₂ であり、 D が O であり、 E が C H₂ であり、 A が C H₂ であり、かつ、 J が N H である、請求項 6 に記載の方法。

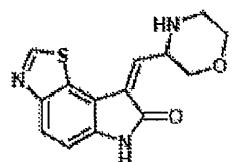
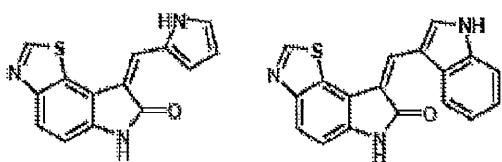
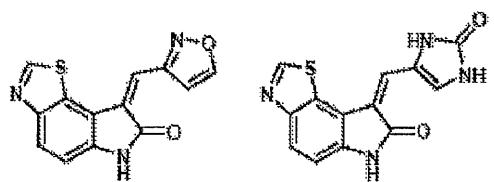
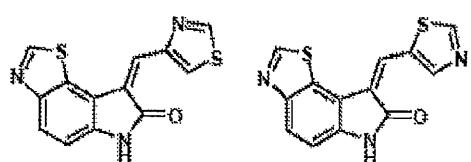
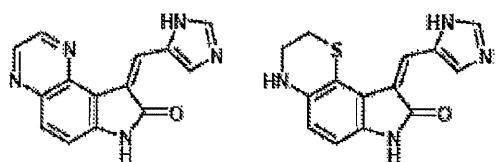
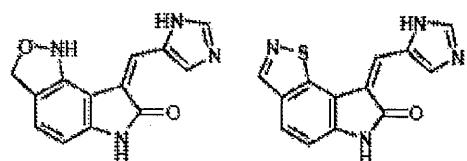
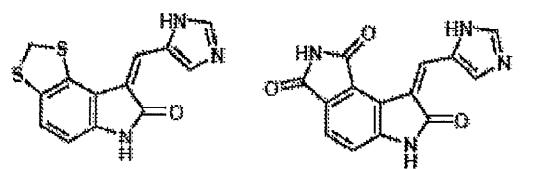
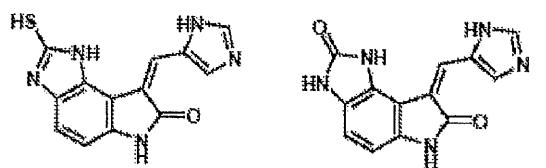
【請求項 22】

n が 1 であり、 Q が C H であり、 D が C H であり、 E が C H であり、 A が C H であり、かつ、 J が N である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 23】

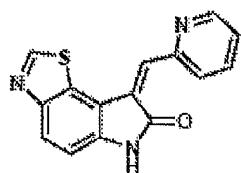
前記組成物が、

【化 2】



および

【化3】



またはそれらの組合せからなる群から選択される、請求項6に記載の方法。

【請求項24】

認知の前記強化がさらに、記憶を前記個体において強化することとして定義される、請求項1に記載の方法。

【請求項25】

ダウン症候群を持つ前記個体における認知を強化する方法である、請求項1に記載の方法。

【請求項26】

認知の前記強化がさらに、記憶を前記個体において強化することとして定義される、請求項25に記載の方法。